ヒロシマに訪れて

長久手中学校　二年　中野　葵

私は、八月二十三、二十四日に広島平和体験学習に長久手中学校の代表の一人として参加しました。なぜ参加したかというと、実際に広島に行き、戦争の悲惨さや平和の尊さについてこの身で感じたかったからです。

一日目に行った一つ目の場所は平和記念資料館です。資料館には当時の沢山の写真や衣服、遺族から寄付された品々が展示されていました。その展示品を一つ一つ見ると、当時の人達の辛い顔や体の写真が展示されており、心がとても痛みました。そして、去年寄贈された、オバマ元大統領が祈った折り鶴がかざってありました。他国からの平和の願いというのはその折り鶴を見てとても嬉しかったです。資料館を見て、戦争のむごさや悲惨さをこの身で感じました。

次に行った場所は、原爆ドームです。原爆ドームを見て感じたのは、原爆の恐ろしさで

20 × 20

す。屋根は骨組みが見える状態になっており何よりも驚いたのが、ドーム内の階段です。階段を見てみると、持つところが折れていたり、はずれたりしていました。原爆というのは、こんなに大きな建物をボロボロにしてしまう。当時を想像してみると本当に恐ろしかったんだなと感じました。

二日目に行った場所は、二回目の平和記念資料館です。そして私達は、当時、原爆にあった男性の話を聞きました。その中での話は当時の頃の目や耳や体で感じたことを分かりやすく教えてくれました。男性が言うには、戦争は子供達をだます、人々をうそつきにする、子供の心を鬼にしてしまう。その言葉にとても考えさせられ、感動しました。

平和、それは一日一日笑顔でいられること、戦争がない世の中、だと私は思います。そして、この広島平和体験学習に参加して、平和についてとても考えさせられた二日間でした。この経験を将来にいかしていきたいです。

20 × 20